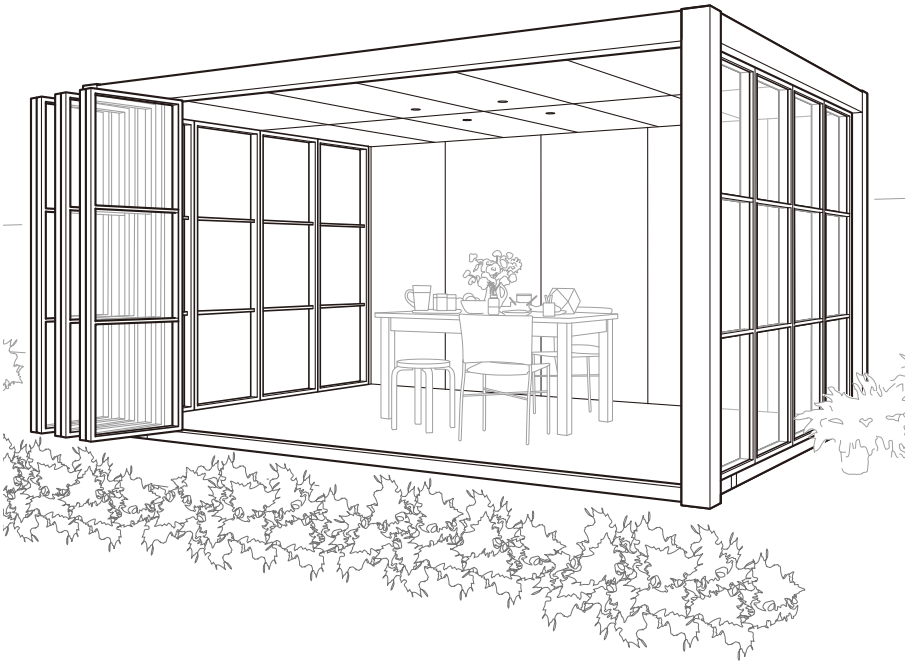
LIXIL

取扱説明書

Gスクリーン 折戸



もくじ

	ページ
安全上のご注意とお願い	9
折戸について	1
折戸パネルの開閉	2
折戸パネルのロック	3
お手入れ	5
●折戸パネル	5
●下レール	5
●回転ブレード	5
●シリンダー	6
●パネル	6
●外部把手	7
故障かな!?と思ったら	11
修理と保証	12
保証書	15

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警 告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注 意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

🚫 行なってはいけない内容です。

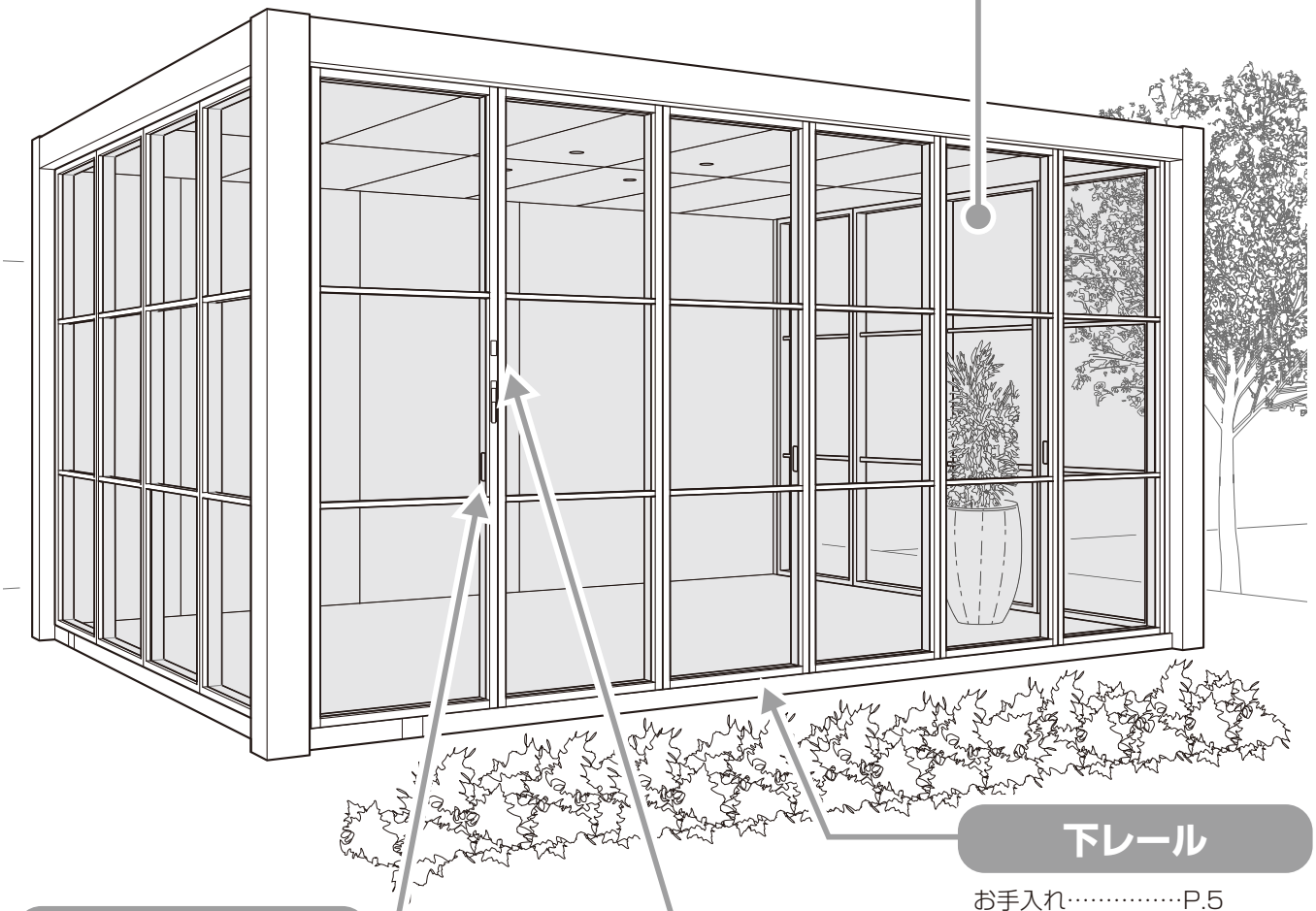
❗ 必ず実行していただく内容です。

お願い 取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

保証書付き

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

折戸について



折戸パネル

使いかた……P.2
お手入れ……P.5

下レール

お手入れ……P.5

落し棒

使いかた……P.3

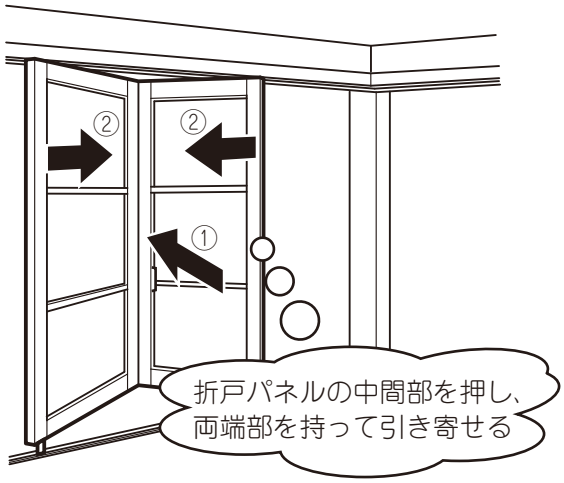
外鍵

使いかた……P.3
お手入れ……P.6

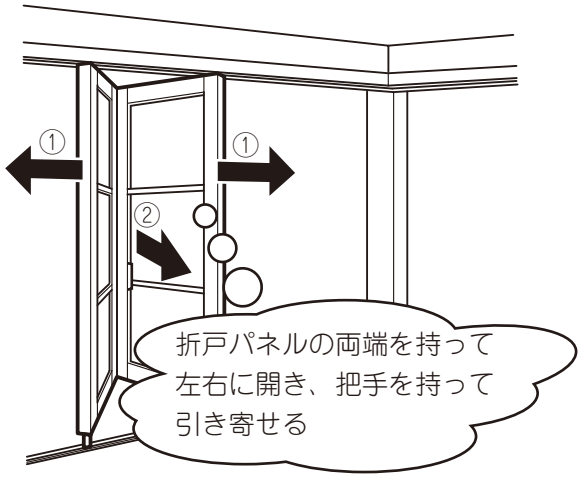
折戸パネルの開閉

お願い
・折戸パネルをたたんだり、閉じたり、移動したりする際は必ず折戸パネルにあるすべての落し棒を解除してください。（P.3、4参照）

パネルのたたみ方

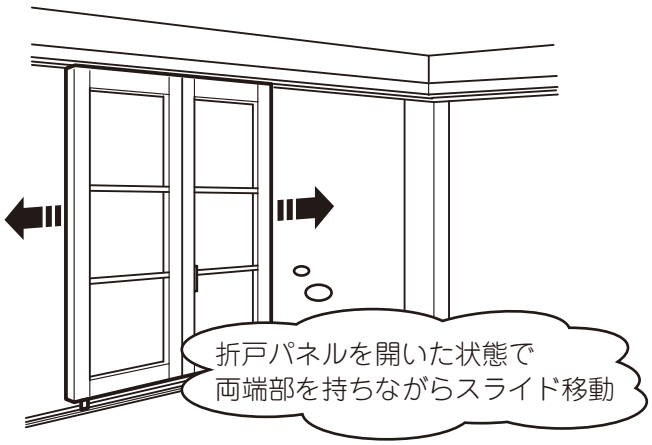


パネルの開け方



補足
・約90°に折りたたむと、たたんだ状態と折戸の位置を保持する為のストッパーが起動します。開閉が多少重くなりますが、故障ではありません。

折戸パネルの移動方法



⚠注 意

必ず実行

●パネルは折りたたんだ状態で動かさない！
（180度に伸ばした状態で使用する！）

・折戸パネルが動かなくなったり、製品破損の原因となります。
また、柱などに当たりケガをするおそれがあります。

●移動、開け閉めはゆっくり両手で行なう！

・折戸パネルが破損してケガをするおそれがあります。

折戸パネルのロック

⚠注 意

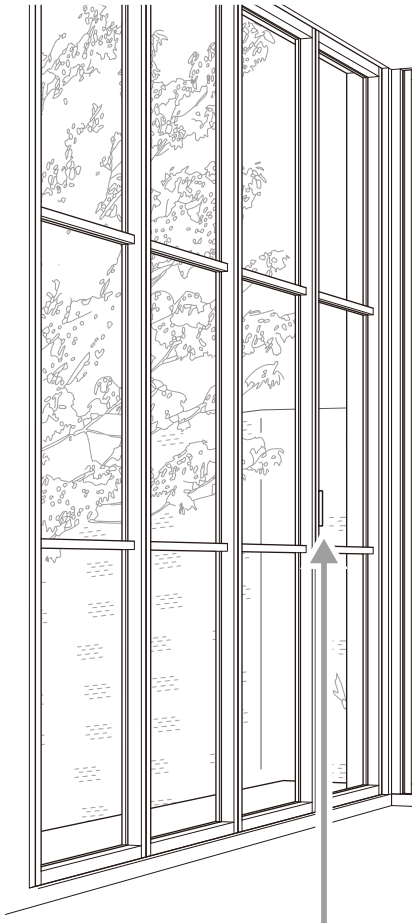
必ず実行

●折戸を定位置に移動してから落し棒を固定！

・定位置以外で落し棒を固定すると下レール回転ブレードが折戸からはみ出て起動し、つまづきによるケガや製品破損のおそれがあります。

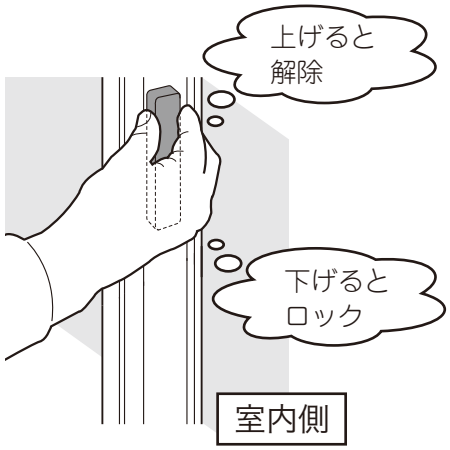
お願い

・折戸パネルの移動はすべての落し棒を解除した後に移動させてください。落し棒を解除せずに移動すると、折戸パネル、落し棒、下レール回転ブレードなどの破損の原因になります。
・強風時、就寝時、外出時は落し棒を固定してください。落し棒を固定しないと突風等による製品破損の原因となります。
・本商品には防犯性能はありません。盗難事故による損害については責任を負いかねますので、ご了承ください。



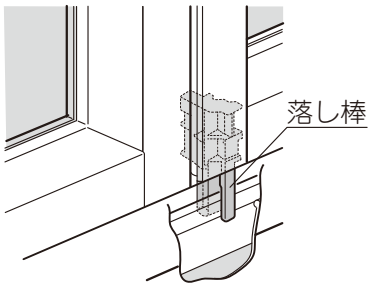
落し棒 室内からの操作方法

折戸パネルを180度になるよう手前に引き込んでから操作してください。



補足

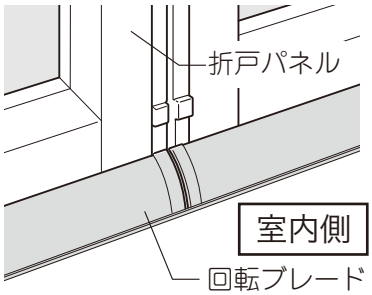
取っ手を下げると落し棒が下がり回転ブレードが上がります。



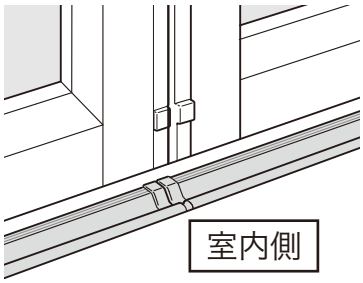
補足

・下レールの回転ブレードが下りている場合は落し棒が解除されています。
・回転ブレードが上がっている場合、折戸パネルには密着しないことがあります。

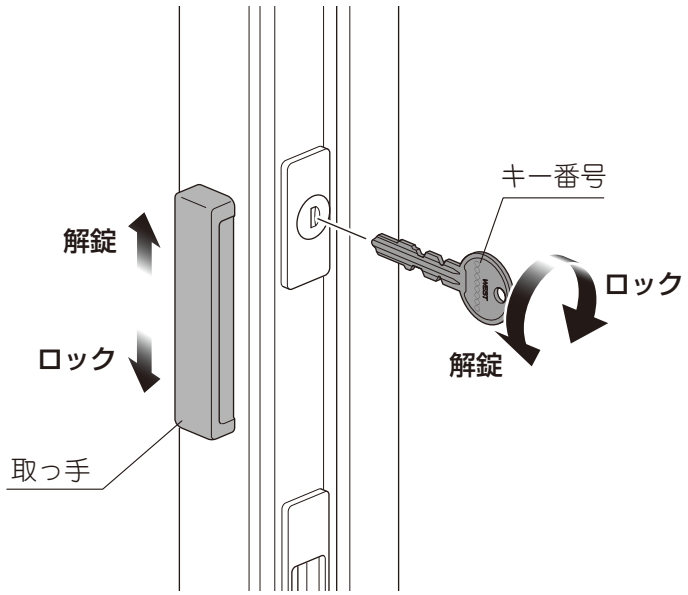
落し棒が固定された状態



解除状態



外鍵 あけかた、掛けかた



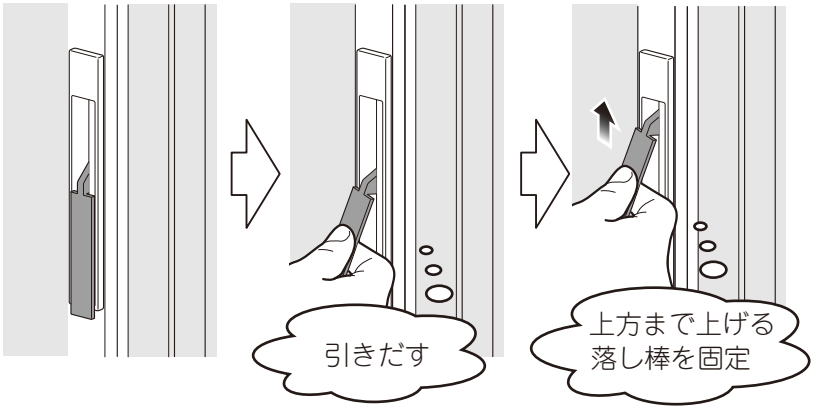
お願い

- 在宅時は必ずキーがある事を確認してください。
- キーに刻印している番号（英数字）を控えてください。
  紛失時はこの番号で発注してください。キー番号が不明の場合、錠ユニットごと交換になります。

キー番号	

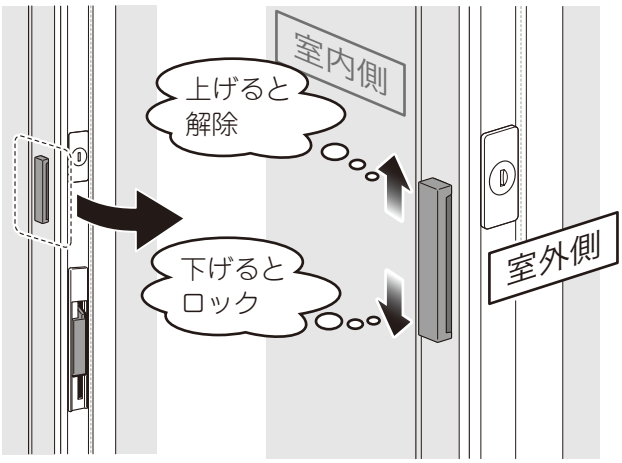
- スペアキーをお求めの場合は、キーと同梱包のご案内用紙をご覧頂き、お買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。

落し棒 室外からの操作方法



補足

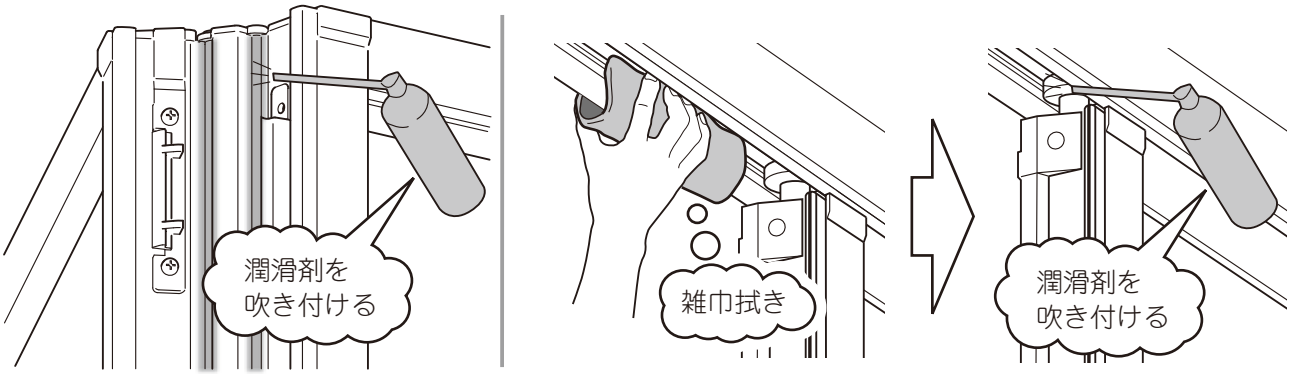
落し棒が固定された状態で、室内側の取っ手の上にあるロックを下げると、室外から落し棒の操作ができなくなります。



お手入れ

お願い　シリコーン系潤滑剤を使用ください。　シリコーン系以外を使用すると、部品の破損の原因になります。

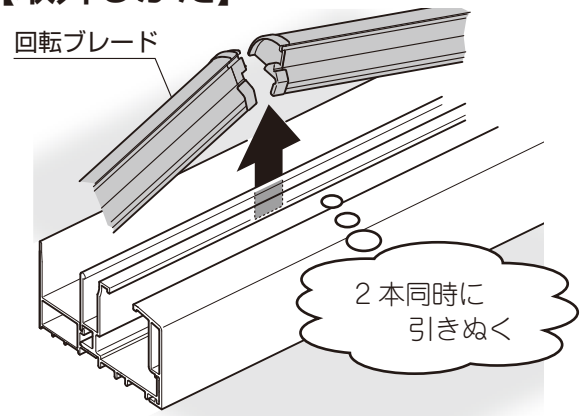
折戸パネル　お手入れ：スムーズに 開閉できないとき



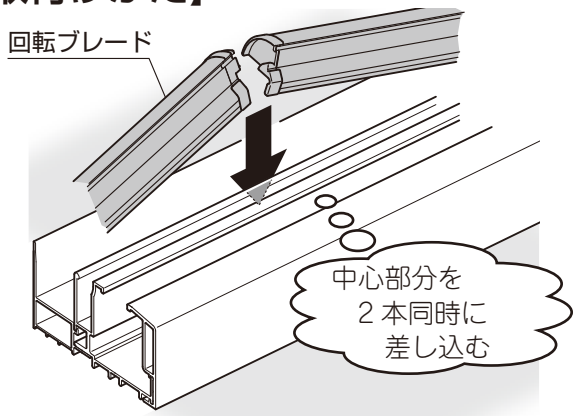
回転ブレード　取外しかたと取付けかた

補足　下レールを清掃する際は回転ブレードも取外して清掃も行ってください。

【取外しかた】

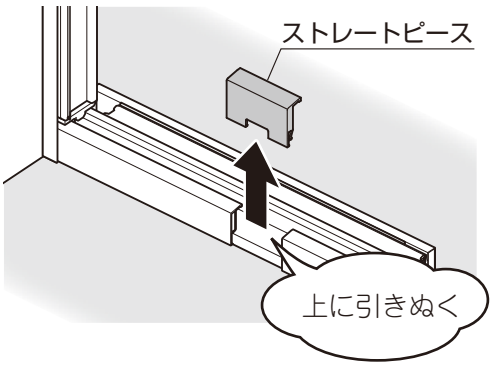


【取付けかた】

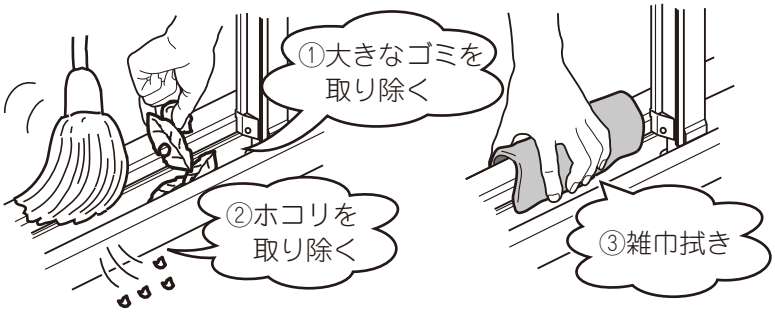


下レール　お掃除

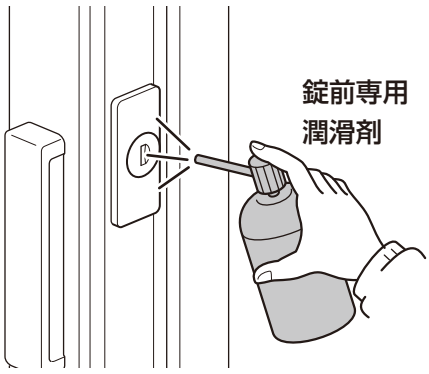
【ストレートピースの取り外しかた】



【お掃除のしかた】



シリンダー　お手入れ：定期的に



お願い　・鍵穴には錠前専用潤滑剤を注入してください。
合成潤滑剤は使用しないでください。

合成潤滑剤

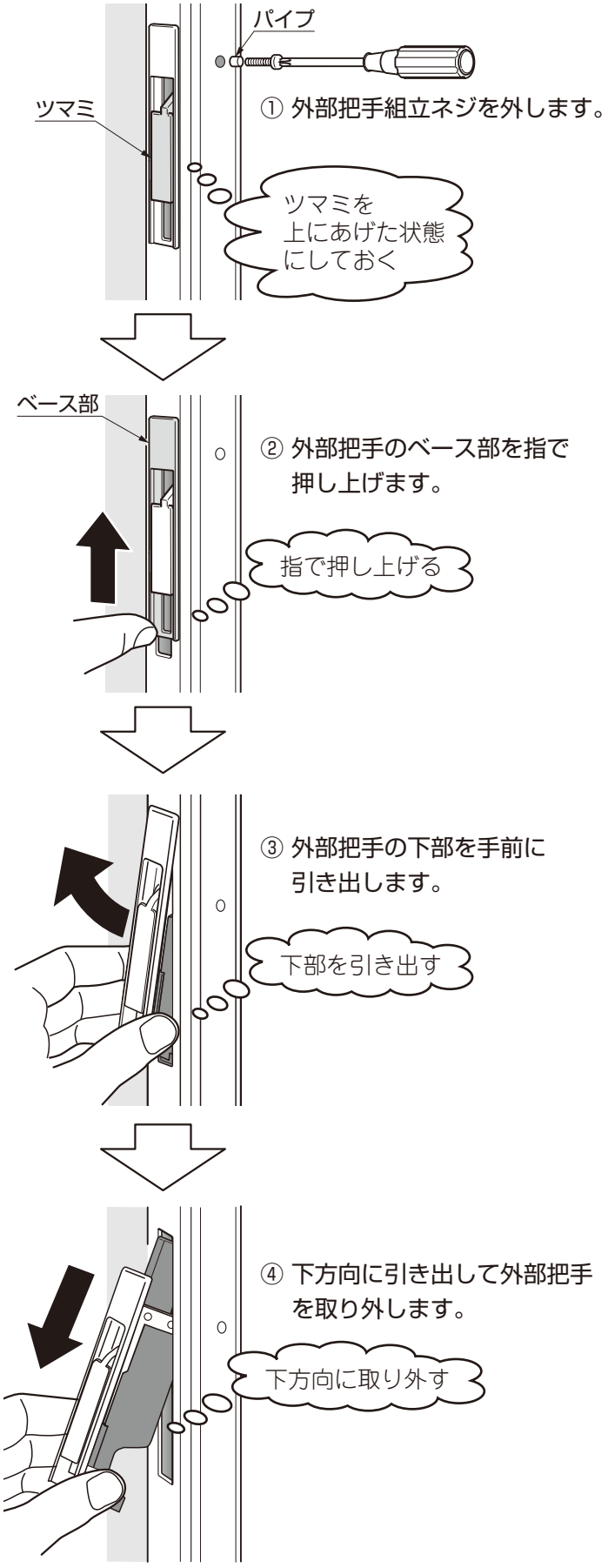
パネル　お掃除：年2～3回

お願い　・市販のガラスクリーナーを使用し、柔らかい布で拭き取ってください。

【外部把手交換方法】

■取外し方法

折戸パネルを折りたたみ、外部把手のツマミを上にあげた状態で作業してください。



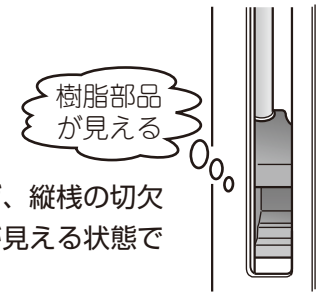
① 外部把手組立ネジを外します。

② 外部把手のベース部を指で押し上げます。

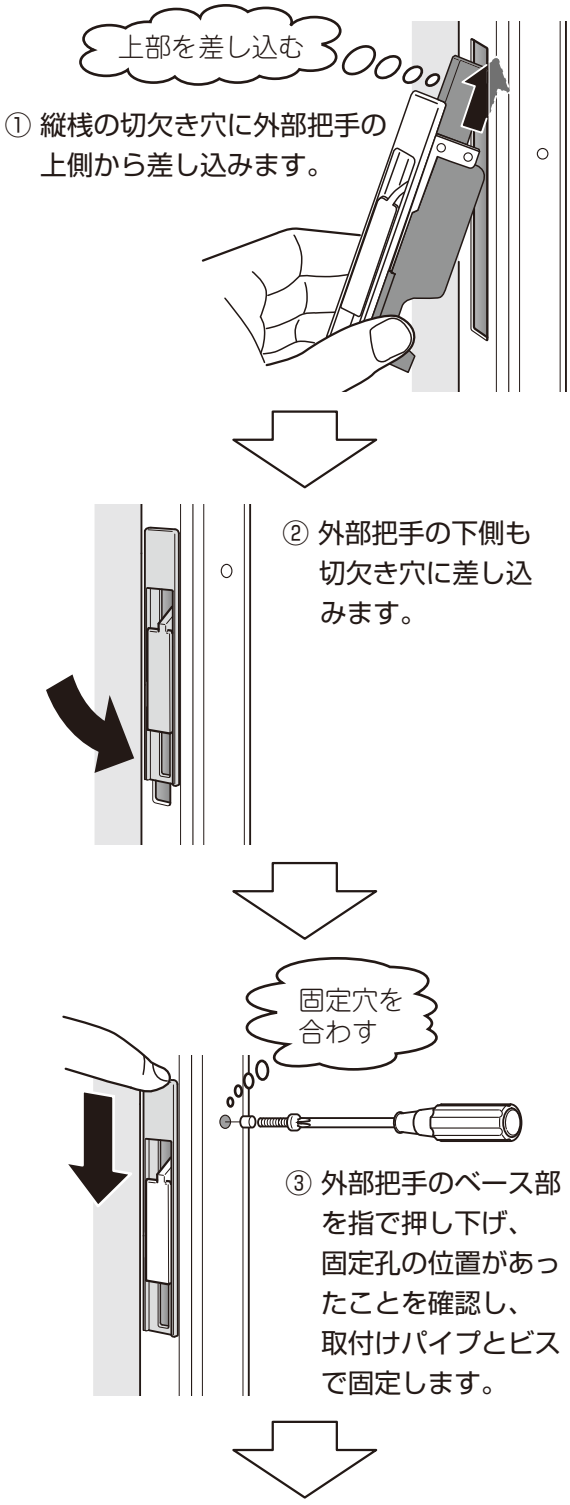
③ 外部把手の下部を手前に引き出します。

④ 下方向に引き出して外部把手を取り外します。

■取付け方法



内部把手を下にさげ、縦桟の切欠き穴から樹脂部品が見える状態で作業してください。



① 縦桟の切欠き穴に外部把手の上側から差し込みます。

② 外部把手の下側も切欠き穴に差し込みます。

③ 外部把手のベース部を指で押し下げ、固定孔の位置があったことを確認し、取付けパイプとビスで固定します。

④ 外部把手を操作し、落し棒と内部把手が連動していることを確認してください。

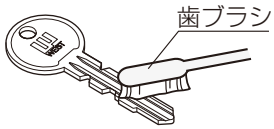
【折戸用鍵のお手入れ】

■お手入れ方法

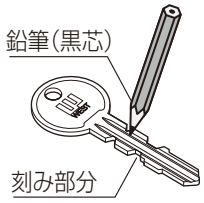
鍵穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時は、以下の手順でお手入れを行ってください。

①鍵穴のゴミやホコリを掃き出してください。
鍵穴のゴミやホコリはパソコンのキーボード用のエアーダスター等を使用し、掃き出してください。
掃除機で吸い出す方法もあります。

②キーの刻み部分や溝部の汚れ（ゴミやホコリ）を取り除きます。
歯ブラシ等で、刻み部分や溝の汚れを掃き出してください。（定期的な清掃をお願いいたします。）

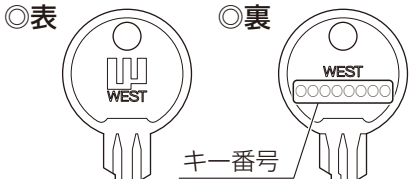


③鍵穴の抜き差しがスムーズにできない、または重いとき。
1）鍵のすべての刻み部分を鉛筆（先端の黒芯）でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをしてください。鍵の抜き差しがスムーズになります。または、錠前専用の潤滑剤「DASZ020」を鍵穴に0.5秒程度吹き付けてください。
吹き付けすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。
2）鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉または潤滑剤を布等でふき取ってください。付着したまま使用されますと、衣服等を汚す場合があります。



■合鍵の発注方法

お施主さまがお持ちになる鍵のナンバー情報保護のため、合鍵は裏表紙記載のLIXILストアもしくは当社お客さま相談センターに直接ご発注ください。
キー番号は必ず記録して大切に保管してください。

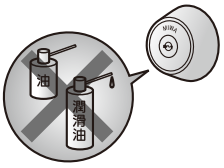


お 願 い

禁 止

●鍵穴には一般に市販されている潤滑油などは絶対に使用しない！

・ホコリが堆積し、作動不良になり故障の原因になります。必ず当社指定の鍵穴用潤滑剤のご使用をお願いします。



<当社指定鍵穴用潤滑剤>
「鍵穴用パウダー潤滑剤（商品コード:DASZ020）」をお求めください。
なお、鍵穴用潤滑剤は、LIXILストアにて購入可能です。

DASZ020

安全上のご注意とお願い

⚠注 意　折戸パネル/ガラスフィックスパネル

必ず実行

●強風時は全閉して落し棒を固定

破損してケガをするおそれがあります。

禁 止

●よりかかからない！

破損してケガをするおそれがあります。

●開閉時は、パネルとの間に手や指をはさまれない！

ケガをするおそれがあります。

●たたんだ状態で傾けない！

・破損しケガをするおそれがあります。
・折戸パネルが動かなくなることがあります。

注 意

●日光が反射しやすい面材（パネルなど）をご使用の場合、面材のゆがみで太陽光が集光し、光の反射が強くなる場合があります。ごくまれに、反射光が当たった個所の状況や環境により、庭の植物や人工芝などの設置物に焦げ付きや溶融が生じることがありますのでご注意ください。

お願い

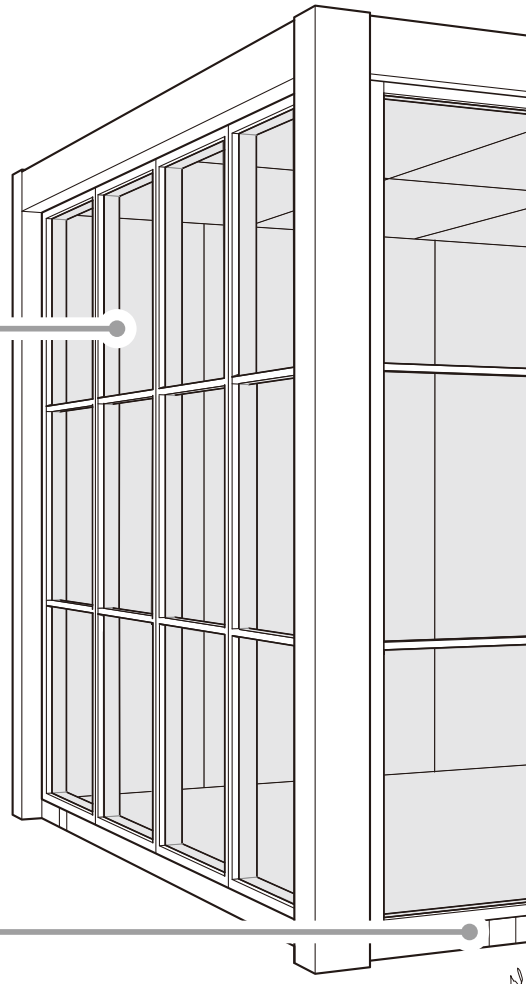
・動かない時は操作しないでください。落し棒が落ちている時、凍結時、積雪時は無理に開閉すると破損することがあります。

⚠警 告　折戸パネル/ガラスフィックスパネル

禁 止

●衝撃をあたえない

破損すると重大なケガをするおそれがあります。



お 願 い

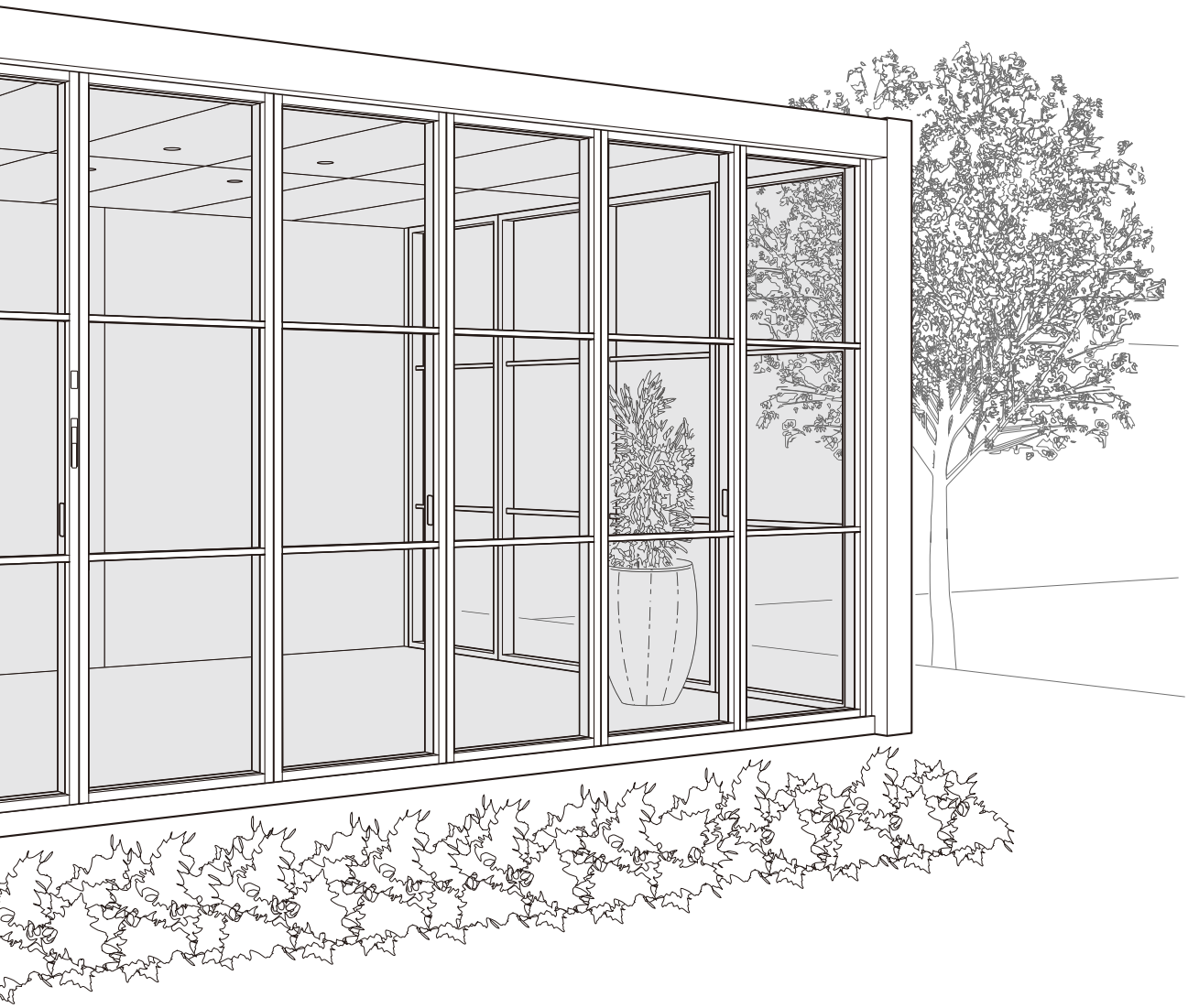
・下レールストレートピースをけとばさないよう注意してください。

⚠注 意　折戸全般について

●製品の分解や改造は絶対にしないでください。製品の性能を低下させることがあります。
●錠は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことができなくなるおそれがあります。

お 願 い

・パネルの近くに物を吊さないでください。強風時および開閉時にパネルに当たり、破損の原因になります。
・下レールをけとばしたり、踏みつけたりしないでください。変形すると、折戸パネルの開閉ができなくなります。
・雨が降っている時は、折戸パネルを閉めてください。雨の日に折戸パネルを折りたたんだ状態のまま放置すると、折戸パネル内部に水がたまり、作動不良の原因になります。
・グレーチングに強い衝撃を与えないでください。部材が変形・破損するおそれがあります。
・樹脂部品は材質上の特性により、同じ色呼称でも色味が異なる場合があります。
・積雪時は柱付近のパネルから出入りしてください。積雪量により間口中央部分のパネル開閉がしにくくなる場合があります。



故障かな !? と思ったら

●製品に異常が生じたときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

事前にお調べください

このようなとき	点　検	処　　置
折戸パネルがスムーズに開閉しない	下レールの溝内にゴミや小石などがありませんか	下レール溝内を清掃してください「お手入れ（P.5）」参照
	上ローラー・パネルの滑りが悪くありませんか？	上ローラー・折戸パネルに潤滑剤を吹付けてください「お手入れ（P.5）」参照
下レール回転ブレードが起動しない折戸パネルがある	折戸パネルの落し棒がしっかりおりてますか	下りていない折戸パネルを再度開け閉めしてください。
外部把手が動かない	つまみが破損していませんか？	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。「外部把手交換方法（P.7）」参照
落し棒操作がかたい	落し棒操作の時に折戸パネルが180度の状態になっていますか？	折戸パネルを手前に引き込んでから落し棒操作をしてください。「落し棒の操作方法（P.3）」参照

それでも直らないときは……

●お買い上げの販売店（工事店）または「お客さま相談センター」にお問い合わせください。

（1）保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

（3）修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（4）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（5）交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
LIXILストア　**https://store.lixil.co.jp/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001 にご連絡ください。

MEMO

MEMO

Gスクリーン　折戸　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビングファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで
http://www.lixil.co.jp/

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）
TEL. 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. 0120-413-433
http://www.lixil.co.jp/support/

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『個人情報保護方針』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
EXM090

JZZ638311A
202303_1049
202405A_1047